

ち さん ち しょう 地産地消だよい

光市立光学校給食センター H23. 10 発行



よねちゃん

やまぐちけんとうすいさんぶつ
山口県農水産物キャラクター

がっこうきゅうしょく ひかりし
学校給食では光市でとれた「ヒノヒカリ」と「せとのにじ」という米を使っています。「せとのにじ」は光市のブランド米で、かめぼかむほど甘味が出るおいしい米です。

ことし はる しまたがわぞ み い なかみち た ぞだ
今年の春から、島田川沿いにある三井の中道さんの田んぼに育つ稲の様子を見させてもらいました。その様子をお伝えします。

5月 田植え

センチメートルくらい そだ
15 c m 位に育てた
稲の苗を田植え機で3～4
本ずつ植えていきます。



7月 稲が順調に育っています

稲が順調に育っています。50
～60 c m の長さに育ち、一つの
株の茎の数が20本位に増えてい
ました。



た 田んぼには、かえる
や、おたまじゃくしが
およ 泳いでいました。

8月 稲の花が咲きました

稲の穂が出ると花が咲きます。米を
包む「もみ」になる部分が開き、白い
おしべがのぞいています。花が咲いて
から40日位で収穫できます。



精米

せいまいき げんまい
精米機で玄米のぬかの
部分を取り除くと白い米
(精白米)になります。



もみすり

もみすり機で「もみ」
から「もみがら」を取り
除き「玄米」にします



乾燥

コンバインから出
てきた「もみ」は水分
が多いので保存でき
るよう乾燥機で
乾燥させます。



9月 稲刈り

実った穂は黄金色になり
重く垂れていました。
コンバインという機械で
稲刈りをします。刈り取りと、
脱穀をして「もみ」にします。



こめ
米ができるまでにはたく
さんの農作業がありまし
た。毎日稲の世話をし
て、秋になってやっと米が収穫
できるのですね。

きゅうしょく のうか
給食のごはんも農家の
方々の苦勞のおかげで食べ
ることができるのです。残さ
ないようにいただきましょ
う。

はる た う あき いねか ようす み
春の田植えから、秋の稲刈りまでの様子を見させてもらいました。小さな稲の苗が
たくましく育ち、花が咲き、実ができ、稲の実である米が収穫できました。
稲が育つ様子を見て、稲も生きている、稲の命をいただいているのだなと感じまし
た。私たちはいろいろな食べ物の命をいただいているのですね。